

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	目指す都市構造と整合した都市交通システムの構築		事業実施主体	市
	事務事業	地域公共交通再編事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	持続可能な公共交通のネットワークの再構築を目指すため、平成 31年 3月に改定した「高松市総合都市交通計画」の基本方針に沿って、令和 3年度に改定した「高松市地域公共交通計画」及び「高松市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、既存ストックを有効に活用し、新駅整備事業、複線化事業及びバス路線網の再編等を推進する。
-------	---

5年度概要	新駅（太田～仏生山駅間）駅舎整備事業（補助金）《市のみ》 新駅（太田～仏生山駅間）駅前広場整備事業 ことでん琴平線複線化事業（栗林公園～仏生山駅間）（補助金）《市のみ》
-------	--

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

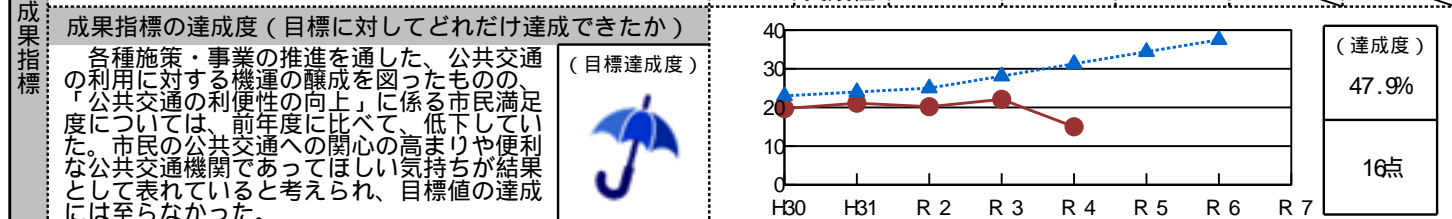
対象（何を）	鉄道・バス等の地域公共交通
意図（どのような状態にしたいか）	鉄道や幹線道路など既存ストックを有効活用し、新たな交通結節拠点を整備する。鉄道を基軸、バスをフィーダーとすることを基本とし、市全域を対象とした現行バス路線を再編することにより持続可能な公共交通ネットワークを再構築する。

【事業の活動】

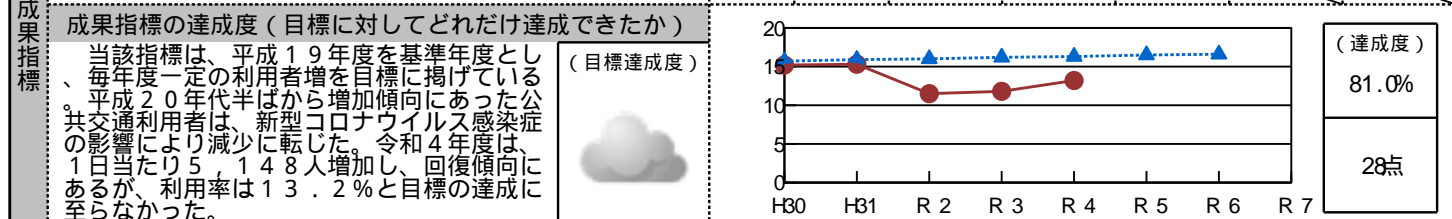
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回	3	3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
施策に関する市民満足度（公共交通の利便性の向上）	%	目標値	25	28.1	31.3	34.4	34.4
		実績値	20.2	22.1	15		



成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
公共交通機関利用率	%	目標値	16	16.2	16.3	16.5	16.5
		実績値	11.5	11.6	13.2		



【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[千円]	813,822	222,371	319,373	165,552
（事業費）	[千円]	797,511	199,117	300,064	143,100
（職員人件費）	[千円]	16,311	23,254	19,309	22,452

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

令和 3年度に大臣認定を受けた「高松市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、令和 4年 4月 1日よりバス路線再編による 2路線の運行を開始するとともに、太田～仏生山駅間の新駅整備については、物件補償等を行った。  
また、タクシーを活用した新しい交通モード「パタクス」の創出に向けた実証事業の運行形態を一部見直した。  
なお、バス路線再編については、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」の告示を受け、2024年 4月から適応される内容を踏まえ、公共交通事業者との調整が必要となる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向け、ことでん新駅の早期完成に取り組むとともに、アフターコロナや「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」踏まえたバス路線再編を事業者と調整を図りながら進める。  
また、パタクス社会実装に向け、「一般乗用」での運行を目指し、タクシー運賃等について本省と協議するとともに、制度設計を検討する。

令和 5年度（4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	目指す都市構造と整合した都市交通システムの構築		事業実施主体	市
	事務事業	J R 端岡駅周辺整備事業		事業期間	平成 30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市が目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりの考えの下、持続可能な公共交通ネットワークの再構築を目指し、本市西部南地域の核となる駅として利便性の向上と交通結節拠点機能を強化するため、J R 端岡駅の駅舎や駅前広場・国道からのアクセス道路等一体的な整備を推進する。				
年度概要	関係機関との協議・調整				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象(何を)	鉄道・バス等の地域公共交通
意図(どのような状態にしたいか)	鉄道や幹線道路など既存ストックを有効活用し、新たな交通結節拠点を整備する。鉄道を基軸として、市全域を対象とした現行バス路線を再編することにより、持続可能な公共交通ネットワークを再構築する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回	3	3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
公共交通機関利用率	%	目標値	16	16.2	16.3	16.5	16.5
		実績値	11.5	11.8	13.2		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 81.0% 28点
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]	13,991	10,344	3,383	10,516
(事業費)	[円]	0		90	38
(職員人件費)	[円]	13,991	10,344	3,293	10,478

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和元年度に取りまとめた基本計画(素案)に基づき、J R 四国と具体的な協議を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響による、J R 四国の経営状況の悪化などから整備内容の合意には至らなかった。  
J R 四国との整備方針合意後、詳細な整備内容の再検討には、アフターコロナにおける需要予測が必要である。また、国費等を活用した事業スキームの確立が課題である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けて、基本計画(素案)を基に、J R 四国と整備方針の合意形成を図る。あわせて、国の補助メニューなどを活用した事業スキームを確立するなど財源の確保に努める。  
また、J R 端岡駅へのマリンライナー停車のため、J R 西日本と協議・調整を図る。